



福島県中学校教育研究会いわき大会・理科研究部会

～ 先生方はこのような研修会で勉強しています ～

10月10日(水)は、「福島県中学校教育研究会」という先生方の研究会の県大会が、いわき市内の各中学校を会場に開催されました。本校は理科の会場で、午前中は県内各地区の代表の先生方による研究協議会、午後はいわき市内の全ての理科教員も参加して、授業参観を通して、その内容についての協議を行い、授業技術の向上に努めました。



研究協議の様子

午前中の研究協議会では、「自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する指導はどうあればよいか。『自然の事物・現象に進んで関わり、見通しを持って探究しようとする態度を養う学習活動の工夫』」という研究主題、研究副主題のもと、日頃の実践事例を持ち寄り、指導方法や教材教具についての話し合いを行いました。

午後の授業参観研究については、24CRで小薬先生、32CRで新田先生が授業を行いました。

24CRでは、右の写真のような課題での授業でした。生徒たちは12月31日～1月1日

1月1日にいわき市では、初日の出を見るこしができたのだろうか。

12月31日
AM3:00
の天気図



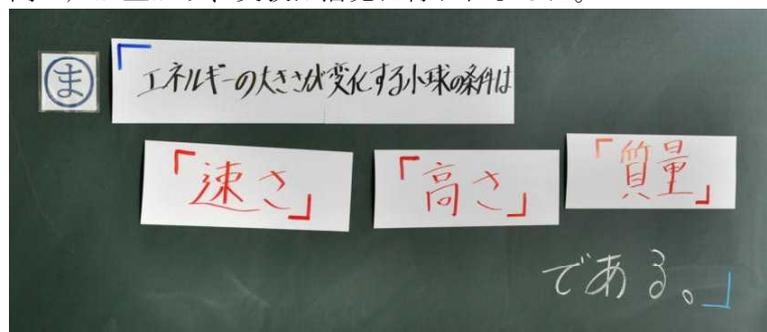
の雲の動きや天気図(前線・低気圧)、気象要素(気温・気圧・風向き)等の資料をもとに、1月1日の天気を予想し、理由をはっきりさせながら班で話し合い、グループ全体の意見としてまとめ上げました。

その後、それぞれの班同士で発表し合い、他の班の意見を参考にしながら自分たちの考えに修正を加え、最終的な予想を作り上げました。次の時間に、1月1日当日の結果と照らし合わせるのが楽しみです。

32CR の学習課題は、「エネルギーの大きさは、何によって変化するだろう？」でした。

その課題解決のために用意された実験は、条件を変えながら小球を斜面に沿って滑り落として、斜面の下にある木片に当て、その移動距離を測定することで、エネルギーの大きさの違いを調べようとするものでした。

生徒は、木片の移動距離が変わる要素として、小球の重さ・大きさ・速さ、斜面の角度、小球を離す高さの5点を予想としてあげ、実験に望みました。しかし、実験が進むにつれ、予想通りにいかない要素が出てきて、そのたびに歓声や疑問の声が上がり、実験は活発に行われました。



実験前に予想したことが覆され、生徒たちは「なぜなんだ？」の疑問がわき上がり、話し合いも検証再実験も大いに盛り上がりました。

実験の結果を表やグラフにまとめたりしながら、結果について話し合い、考察をまとめました。

そのまとめが左の写真です。

今回の研究会では、2年生の授業も3年生の授業も、タブレット型パソコンやその周辺機器等の電子機器を積極的に活用して授業を構成しました。それらの機器を何の抵抗もなく使いこなし、授業中も積極的に実験や話し合い活動を行って科学的な発言をする生徒たちに、県内各地から訪れた先生方からたくさんのおほめの言葉をいただきました。24CR・32CRの生徒の皆さん、ご苦労様でした。

～ もうすぐ、校内音楽会です。～

課 題 曲	1年生	:	夢の世界を						
	2年生	:	Let's search for Tomorrow						
	3年生	:	With you smile						
自 由 曲	11CR	:	大切なもの	21CR	:	明日へ	31CR	:	信じる
	12CR	:	CHANGING	22CR	:	旅立ちの時	32CR	:	YELL
	13CR	:	今日は君の Birthday	23CR	:	未来へ	33CR	:	虹
	14CR	:	怪獣のパレード	24CR	:	心の瞳	34CR	:	友～旅立ちの時～
	15CR	:	この星に生まれて	25CR	:	HEIWAの鐘	35CR	:	ひとつの朝
				26CR	:	COSMOS	36CR	:	手紙
				16, 17, 27, 37, 38CR	:	海に見える街		:	いつも何度でも